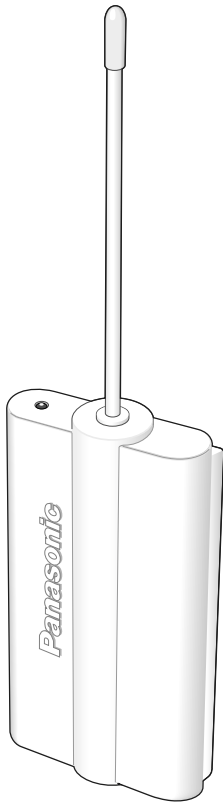


取扱説明書

工事説明付き

ワイヤレスインターカムシステム
センタートランシーバー
品番 **WX-CT10A**



上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用前に

はじめに	2
安全上のご注意	4
取り扱い上のお願い	5
各部のなまえ	6

設置・工事

設置の前に	7
設置上のお願い	7
設定・設置手順	8
エリア（通信可能範囲）について	9
センタートランシーバーの間隔について	9
周波数を設定する	10
各種機能を設定する	11
従来システムとの接続設定	11
センターユニットとの接続	11
送信出力の設定	12
スケルチの設定	12
設置のしかた	13
壁面へ取り付ける場合	13
天井へ取り付ける場合	15
接続のしかた	16

その他

故障かな！？	17
ユーザー通知一覧	18
仕様	19
保証とアフターサービス	裏表紙

保証書別添付

このたびは、ワイヤレスインターカムシステム センタートランシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4～5ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機は、ワイヤレスインターカムシステムに使用するセンタートランシーバーです。

- ポータブルトランシーバー（別売品）間の通話の中継、またはセンターユニットやセンターマイク（別売品）と接続してセンターマイクとポータブルトランシーバー間の通話の中継します。
- 壁取付金具（付属品）を使用して壁に、天井取付キット（別売品）を使用して天井に、使用現場に合わせて取り付けられます。
- 電源は、センターユニットやセンターマイクからの供給と、ACアダプター（別売品）の2方式によります。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）…………… 1
保証書…………… 1

以下の付属品は取付工事に使用します。

壁取付金具…………… 1
チャンネル設定用小型ドライバー…………… 1

本書について

本書は、本機の説明について説明しています。システムでご使用になるときは、センターユニットの取扱説明書を合わせてお読みください。

用語・記号について

本書では、以下の用語および記号を用いて説明しています。

グループ

ポータブルトランシーバーを業務単位で区切った集まりをあらわします。

グループは、ポータブルトランシーバーが通信するセンタートランシーバーにより構成されます。

エリア

1つのグループが通信可能な範囲（広さ）をあらわします。



重要

：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

免責について

●弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損等
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、通話できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害
電波法に義務づけられている、「キャリアセンス機能」（第三者が同じ周波数帯を使用中の間は、通話を開始できない）により、通話に制限を受けることがあります。
- ⑦故意または偶然の結果、通話内容が第三者に傍受・漏えいすることによる不便・損害・被害
本商品の無線通話はアナログ方式を採用しており、傍受を抑止する機能はありません。故意または偶然の結果、第三者が傍受し、通話内容を知り得ることがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない



禁止

取付部が劣化して、落下などの事故の原因になります。

ねじや固定機構はしっかり締め付ける



締め付けが緩むと落下などでけがの原因となります。

壁取付時、質量に耐える指定の方法で取り付ける



ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

定期的に点検する



金具やねじが錆びると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店にご依頼ください。

指定の機器以外は取り付けない



禁止

落下などでけがの原因になります。

ACアダプターを使用するときは、指定品以外は使用しない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

ぶら下がらない
足場代わりにしない



禁止

けがの原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る（手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まない）



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

航空機内では電源を切る



運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

取り扱い上のお願ひ

●技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

●違法改造しないで

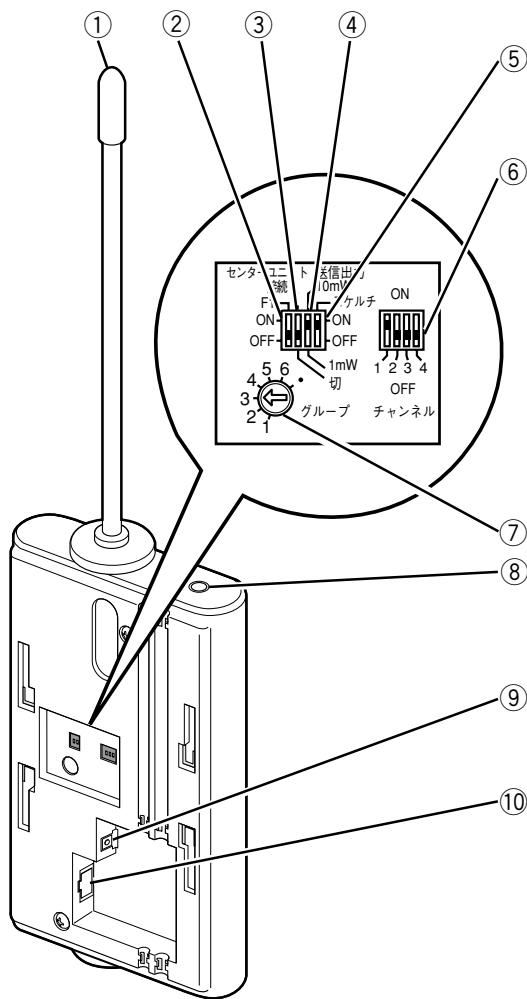
本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

●お手入れは

- 電源を切り乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部のなまえ

ご使用前に



- ① **アンテナ**
電波を送受信するアンテナエレメントです。
- ② **従来システムとの接続設定スイッチ**
本機を従来から使用しているWX-C10シリーズ (WX-CC10、WX-CM10、WX-CT10、WX-CT11) と接続するときに設定します。(☞11ページ)
- ③ **センターユニット接続スイッチ**
センターユニットまたはセンターマイクに接続するか、本機単独で使用するかを設定します。(☞11ページ)
- ④ **送信出力切換スイッチ**
送信出力 (10 mW / 1 mW) を切り換えます。(☞12ページ)
- ⑤ **スケルチ有効設定スイッチ**
スケルチのON (有効) / OFF (無効) を設定します。(☞12ページ)
- ⑥ **チャンネル設定ディップスイッチ**
周波数グループ設定ロータリースイッチで設定された周波数グループの中の個別チャンネルを設定します。(☞10ページ)
- ⑦ **周波数グループ設定ロータリースイッチ**
周波数グループを設定します。(☞10ページ)
- ⑧ **電源表示灯**
本機に電源が供給されているとき点灯します。
- ⑨ **DCコネクター**
ACアダプター (別途調達) を接続します。(☞16ページ)
- ⑩ **センターユニット / センターマイク接続コネクター**
センターユニットまたはセンターマイクとネットワークLAN対応のケーブル (別途調達) で接続します。(☞16ページ)

設置の前に



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、ACアダプターをご使用の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

設置上のお願

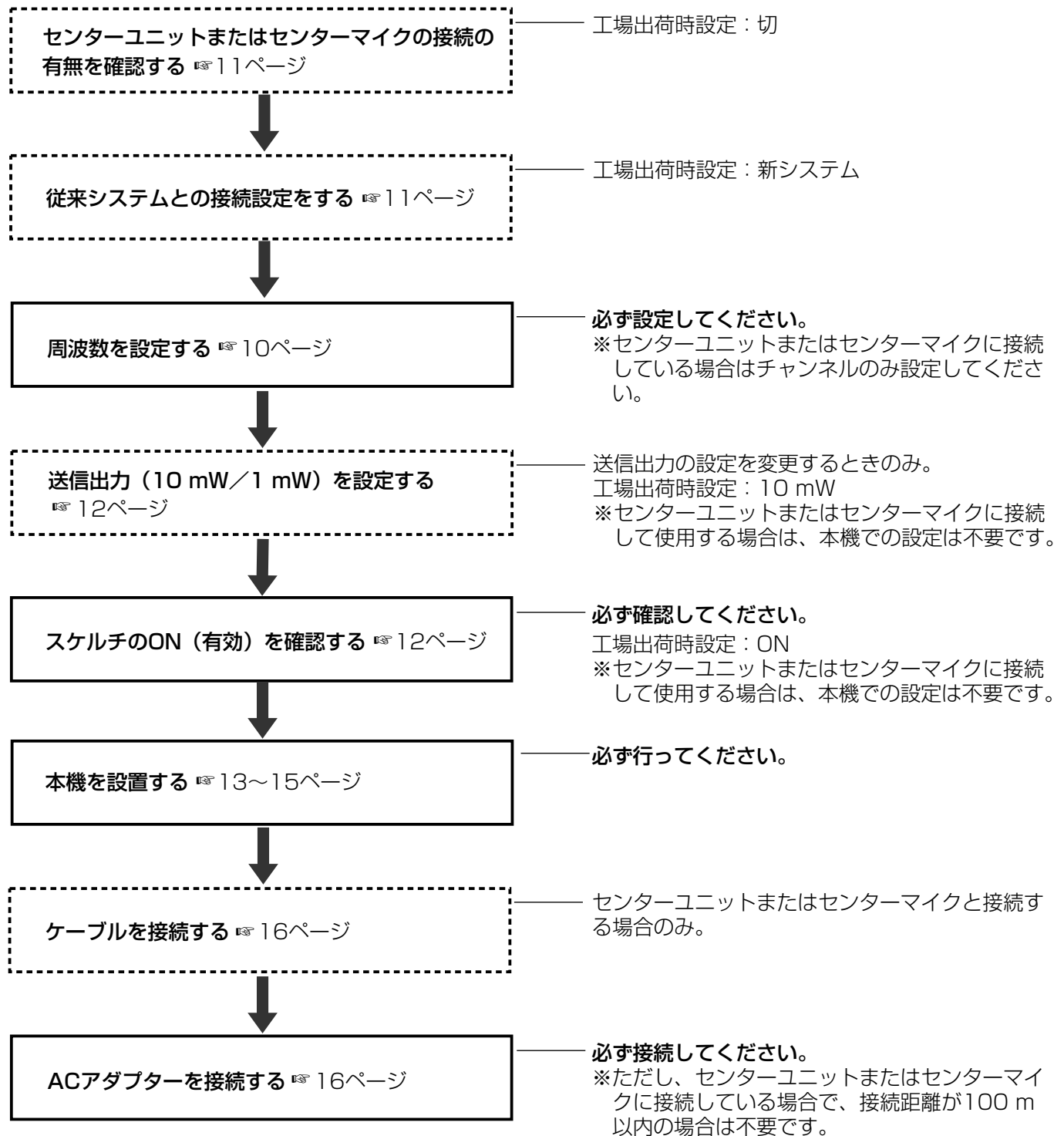
- 次のような場所の近くには設置しないでください。誤動作やノイズの影響を受ける可能性があります。また、通信可能範囲が狭くなる恐れがあります。
 - ・ 水銀灯やネオン灯など、放電を伴う機器の近く
 - ・ 空気清浄機やエアコン、コンピューターなど、ノイズを発生する機器の近く
 - ・ 天井、壁、床下に配線されたノイズを発生するケーブルの近く
- 高層ビル内に設置する場合は、放送電波・業務電波およびノイズなどの影響を少なくするため、窓より最も遠い位置に設置してください。それが無理な場合は、窓より3 m以上奥に設置してください。
- 壁取付について
モルタル壁へのねじによる直取付はしないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。
- 本機を壁に取り付ける場合は、ポータブルトランシーバーの移動する範囲内で本機が見える位置に垂直に取り付けてください。
- 近く（30 cm以内）に電線や金属物などがあるところには設置しないでください。本機の受信感度が低下します。
- ネットワークLAN対応のケーブルの処理および接続は完全に行ってください。処理および接続が不完全な場合、送受信ができなかったり、ノイズが発生する場合があります。
- 電灯器具などの電気機器の電源スイッチをON/OFFした際に発生するノイズの影響で、本システムから大きなノイズ音が発生する場合があります。この場合、ノイズ源（電源スイッチで電源をON/OFFする機器や電源用のケーブル）からワイヤレス機器およびケーブルを遠ざけてください。
- 周波数の設定について
通話ができなくなったり混信が発生している場合は、設定した周波数の近くに外来の電波がある可能性があります。このような場合は、故障ではありませんので、周波数の設定を変更してください（☞10ページ）。

設置の前に (つづき)

設定・設置手順

本機の設定・設置は、以下の手順に従って行ってください。

なお、センターユニット、センターマイクを接続して使用する場合は、各機器の取扱説明書を合わせてお読みください。



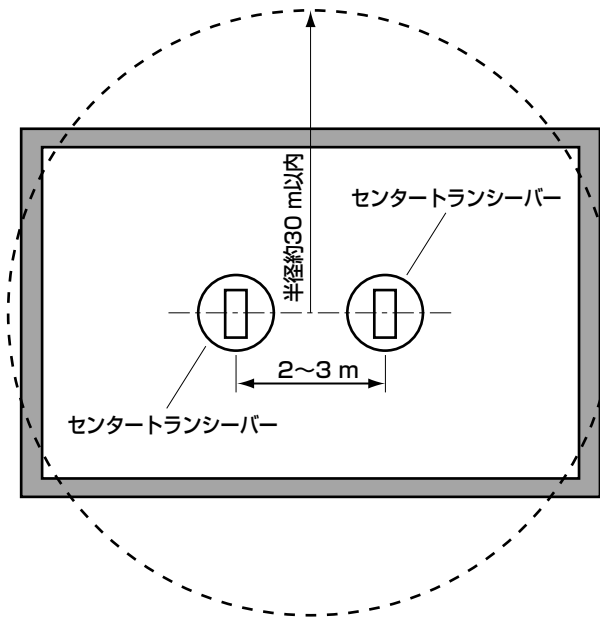
□ は、必ず行ってください。

□□□ は、必要に応じて行ってください。

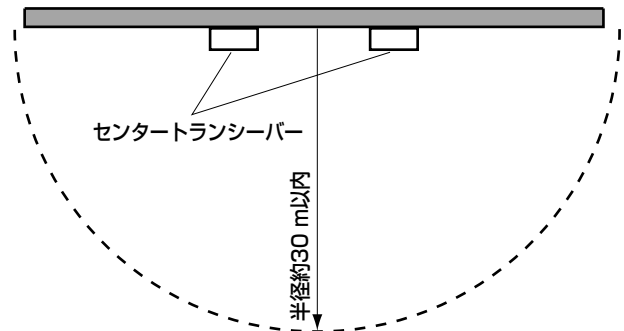
エリア（通信可能範囲）について

通信が可能な範囲は、センタートランシーバーから半径約30 mです（送信出力10 mW時）。（ただし、設置環境により変わります）

●天井に取り付ける場合（天井から見た図）



●壁に取り付ける場合（天井から見た図）



センタートランシーバーの間隔について

センタートランシーバー間の距離は、システムの構成により異なります。センターユニット接続時のシステム構成については、センターユニットの取扱説明書をお読みください。

- 複数のセンタートランシーバーを設置するときは、間隔を2 m以上空けてください。2 m以内に設置すると、相互の電波が干渉して、混信の原因になります。
- 天井高が低い場合や使用場所の環境により、到達距離が短くなる場合があります。センタートランシーバーは、できるだけ見通しの良い場所に設定してください。
- 次のような場所の近くには設置しないでください。誤動作やノイズの影響を受ける可能性があります。また、エリアが狭くなる恐れがあります。
 - ・水銀灯やネオン灯など、放電を伴う機器の近く
 - ・空気清浄機やエアコンなど、ノイズを発生する機器の近く
 - ・天井、壁、床下に配線されたノイズを発生するケーブルの近く

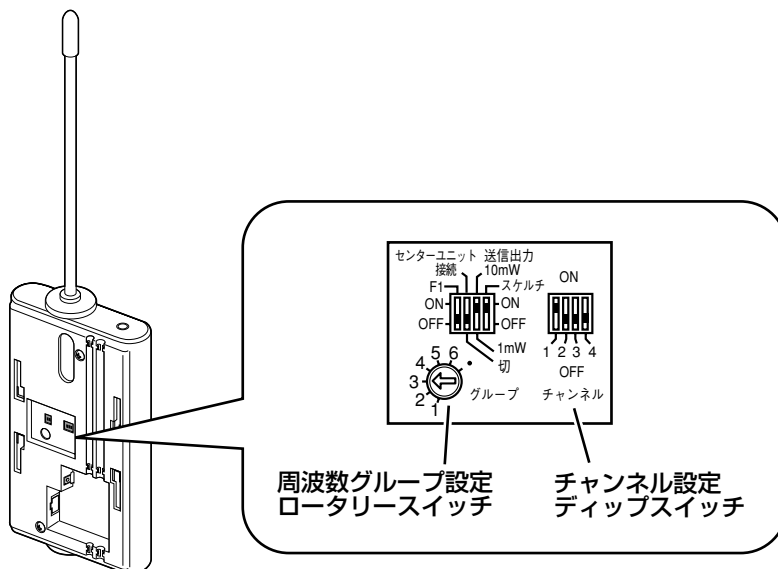
周波数を設定する

周波数グループ設定ロータリースイッチとチャンネル設定ディップスイッチで設定を行います。

- 周波数グループ設定ロータリースイッチ：ポータブルトランシーバーと同じ設定にします。
工場出荷時設定は“1”
- チャンネル設定ディップスイッチ：使用するチャンネルを設定します。
工場出荷時設定は、チャンネル1のみ“ON”、他は“OFF”

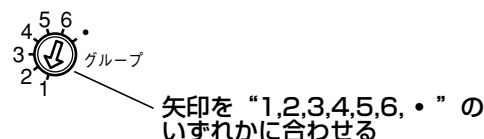


- 設定後または変更後は、必ず電源を再投入してください。再投入しないと、設定が反映されません。



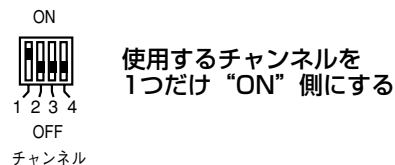
1 周波数グループを設定する

- 周波数グループ設定ロータリースイッチを“1,2,3,4,5,6,・”のいずれかに設定してください。



2 チャンネルを設定する

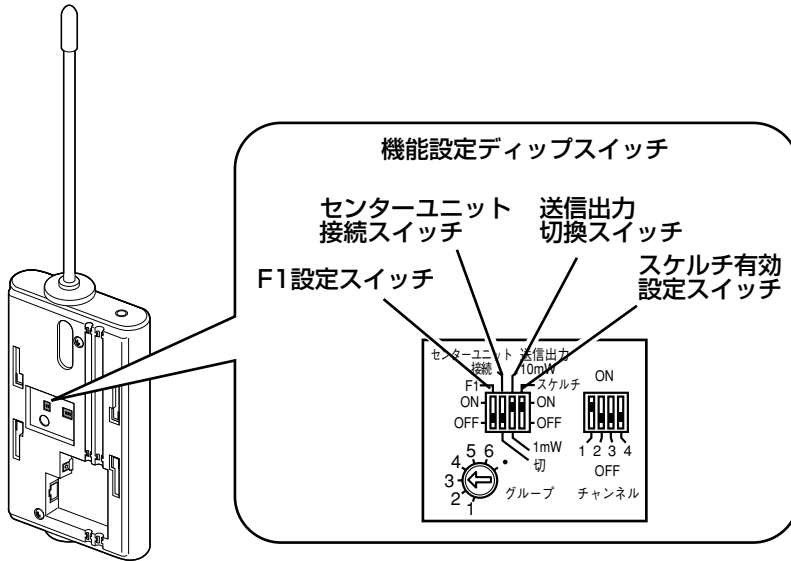
- 本システムで使用するチャンネルを1つだけ“ON”にします。他は“OFF”にします。
- 周波数グループ設定ロータリースイッチを“・”にしたときは、チャンネル“4”は使用できません。
- センターユニットまたはセンターマイクに接続して使用する場合は、チャンネル“1”のみ“ON”にし、チャンネル“2,3,4”を“OFF”にします。



- 通話ができなくなったり混信が発生している場合は、設定した周波数の近くに外来の電波がある可能性があります。このような場合は、故障ではありませんので、周波数の設定を変更してください。
- 本システムで使用する周波数は、ポータブルトランシーバーと同じ設定にしてください。
- 複数のセンタートランシーバーを1つのシステムで使用するときは、同一周波数グループの異なるチャンネルに設定してください。
- 本機がセンターユニットに接続されているときは、本機での設定は無効になります。詳しくは、センターユニットの取扱説明書を合わせてお読みください。

各種機能を設定する

機能設定ディップスイッチで、“従来システムとの接続設定” “センターユニット設定” “送信出力設定” “スケルチ設定” を行います。

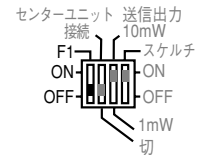


● 設定後または変更後は、必ず電源を再投入してください。再投入しないと、設定が反映されません。

従来システムとの接続設定 F1 設定スイッチ

本機と組み合わせるシステムに合わせて設定します。

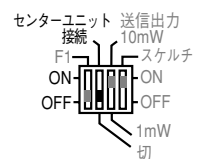
- ON : 従来システム
システム中にWX-C10シリーズ (WX-CC10、WX-CM10、WX-CT10、WX-CT11) がある場合
- OFF : 新システム (工場出荷時設定)
システム中の機器が全てWX-C10Aシリーズ (WX-CC10A、WX-CM10A、WX-CT10A、WX-CT11A) の場合



センターユニットとの接続 センターユニット接続スイッチ

センターユニットまたはセンターマイクの接続の有無を設定します。

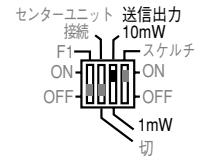
- 接続 : センターユニットまたはセンターマイクに接続するとき
- 切 : 単独で使用する場合 (工場出荷時設定)



各種機能を設定する（つづき）

送信出力の設定 送信出力切換スイッチ

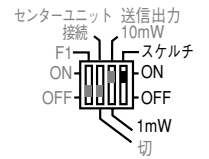
送信出力 10 mW / 1 mW（工場出荷時設定）を設定します。



- 10 mWを使用する場合、法律の規定により、3分間通話をするとう動的に通信を切断し、2秒間通信が禁止されます。
- 本機がセンターユニットに接続されているときは、本機での設定は無効になります。詳しくは、センターユニットの取扱説明書を合わせてお読みください。

スケルチの設定 スケルチ有効設定スイッチ

常に“ON（有効）”（工場出荷時設定）の状態でお使いください。



- 本機がセンターユニットに接続されているときは、本機での設定は無効になります。詳しくは、センターユニットの取扱説明書を合わせてお読みください。

設置のしかた

壁面または天井に取り付けることができます。

壁面へ取り付ける場合は、壁取付金具（付属品）を使用して取り付けます。
スイッチボックス（別途調達）を使用して壁に埋め込むこともできます。

天井取付キット（別売品）を使用すると、天井に埋め込むことができます。詳しくは天井取付キットの取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

- 本体の不良による落下事故以外の取付方法不備などによる落下事故に対しては、弊社は一切責任を負いかねますので、取付場所や取付方法の設計は十分な注意をお願いします。強度が不足の場合は十分な補強をし、安全を確認してから取り付けてください。
- 安全のため十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。
- ACアダプターを使用する場合は、容易に視認できる場所のコンセントをご使用ください。壁埋め込みや天井裏など、容易に視認できない場所でのご使用は絶対に行わないでください。火災や感電、故障などの原因となります。また、高い位置へ取り付ける場合、自重で落下する恐れがありますので、落下防止対策などを行ってください。

壁面へ取り付ける場合

壁面への取り付けは、スイッチボックスを使用する方法と壁に直接取り付ける方法があります。どちらの取付方法でも本機に付属されている壁取付金具を使用します。

● 壁面に直接取り付ける

1

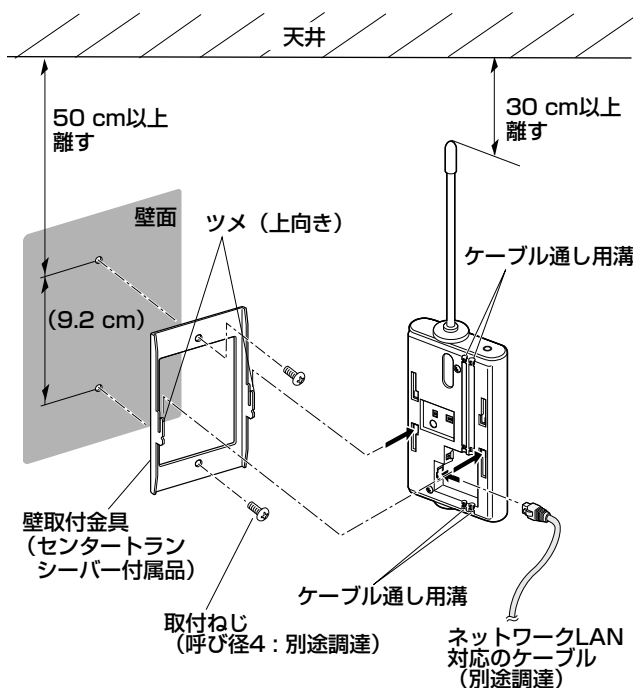
壁取付金具を壁面に取り付ける

- 呼び径4の取付ねじを2個準備し、確実に固定してください。
- 壁取付金具のツメを上向きにして取り付けてください。

2

ケーブルを接続する

- ケーブルは、上下どちらかのケーブル通し用溝に通してください。
- 壁取付金具のツメにセンターランシーバの溝を合わせ、カチッという感触があるまで押し下げてください。
- 本機は上下逆にしても取り付けられます。
- 本機を上向きに取り付ける場合は、天井からアンテナ先端までを30 cm以上離してください。
- 使用するケーブルについては、16ページをお読みください。
- ケーブルは余裕を持たせてください。引くと、接触不良や断線の原因になります。



設置のしかた (つづき)

●スイッチボックスを使用して壁面に取り付ける

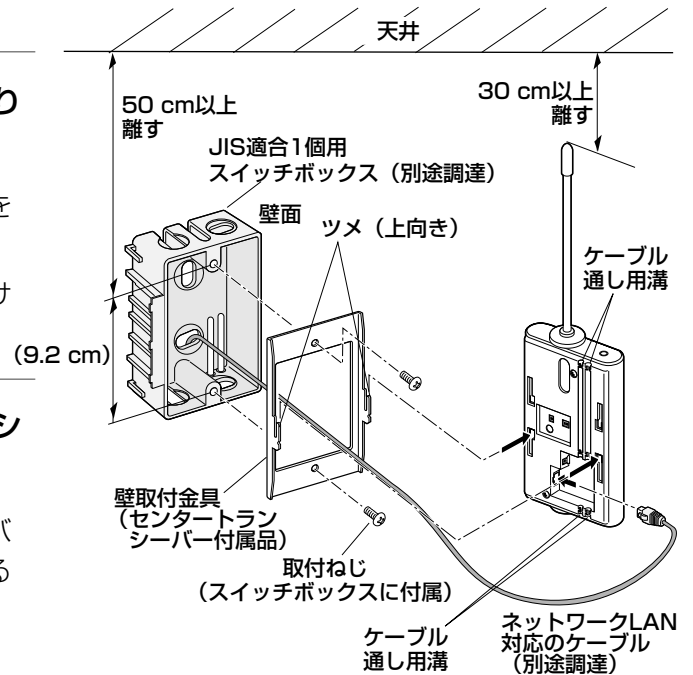
1 スwitchボックスからケーブルを引き出す

2 壁取付金具をスイッチボックスに取り付ける

- スイッチボックスに付属されているねじを使用し、確実に固定してください。
- 壁取付金具のツメを上向きにして取り付けてください。

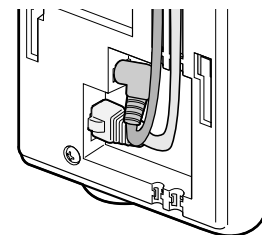
3 ケーブルを接続し、センターランシーバーを取り付ける

- 壁取付金具のツメにセンターランシーバーの溝を合わせ、カチッという感触があるまで押し下げてください。
- 本機は上下逆にしても取り付けられます。
- 本機を上向きに取り付ける場合は、天井からアンテナ先端までを30 cm以上離してください。
- 使用するケーブルについては、16ページをお読みください。
- ケーブルは余裕を持たせてください。引っ張ると、接触不良や断線の原因になります。



●ACアダプターを使用する場合

- ACアダプターのケーブルを本機のケーブル通し用溝（上下いずれか）に通し、コンセントに接続してください。上側の溝に通す場合は、ACアダプターのL型プラグを下側に向けて接続し、ケーブルにたるみをもたせて引き回してください。
- 使用するACアダプターについては、16ページをお読みください。



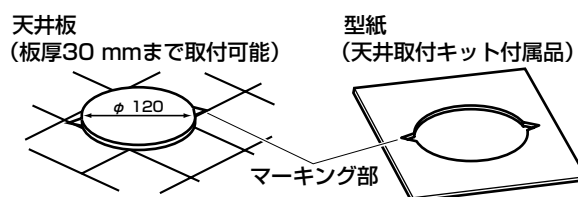
天井へ取り付ける場合

天井取付キット（品番：WX-CZ10、別売品）が必要です。設置の際は、必ず天井取付キットの取扱説明書をお読みください。また、設置上の注意事項をお守りください。

- 重要** ● 取り付けには、天井裏高さ300 mm以上が必要です。

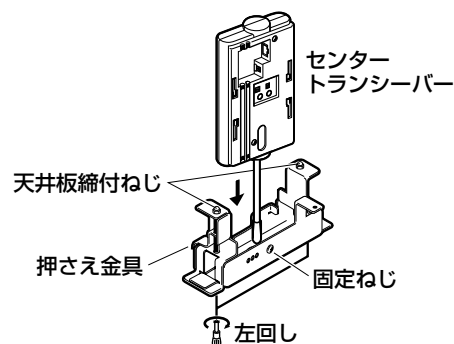
1 型紙を天井に合わせ、 $\phi 120$ mmの穴をあける

- センタートランシーバーの向きを示すマーキング部のしるしも天井につけてください。



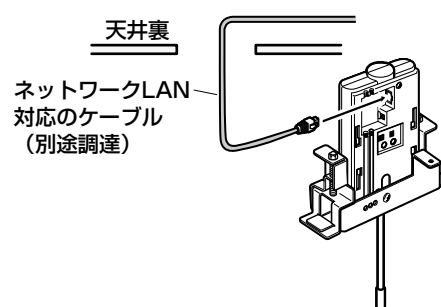
2 取付金具の天井板締付ねじを左に回し、押さえ金具を上にあげ、センタートランシーバーを取付金具に固定する

- 固定ねじをゆるめてセンタートランシーバーを差し込み、固定ねじを締めて固定します。



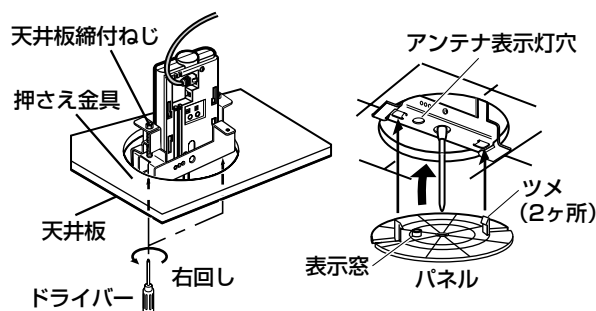
3 ケーブルを接続する

- ネットワークLAN対応のケーブルを接続します。
- 使用するケーブルについては、16ページをお読みください。



4 天井板に固定、パネルを取り付ける

- 天井板締付ねじを右に回すと押さえ金具が天井板を挟み込みます。マーキング部のしるしに合わせて固定してください。
- センタートランシーバーの表示灯とパネルの表示窓を合わせ、パネル裏側のツメを取付金具に差し込んでください。



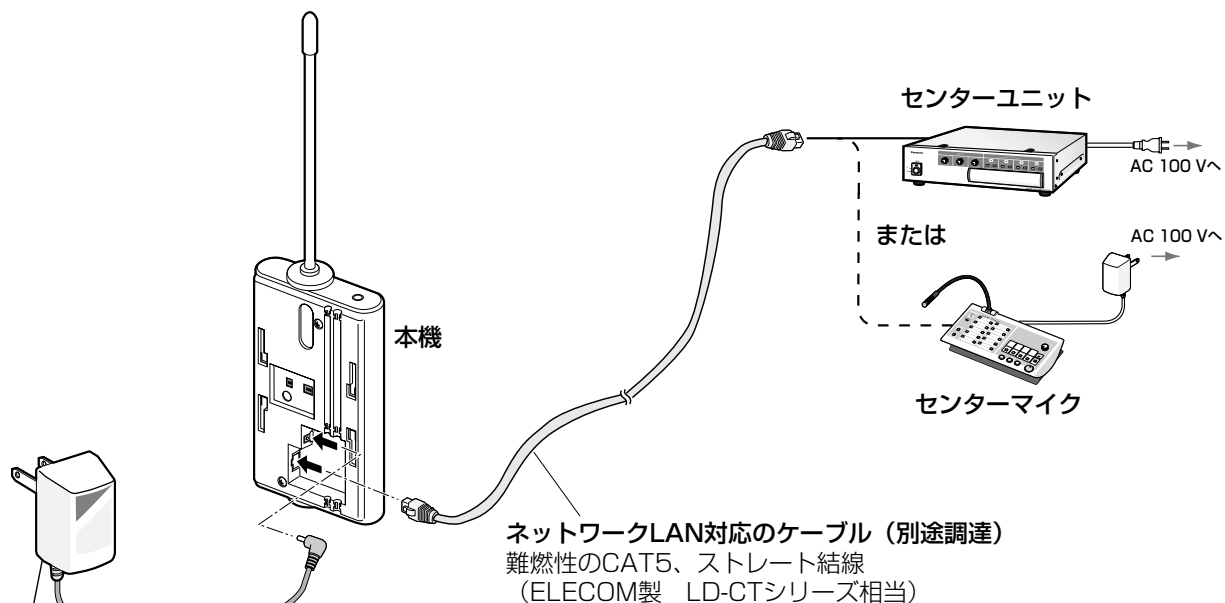
接続のしかた

センタートランシーバーを単独で使用する場合は、下記のACアダプター（別途調達）を接続してください。
推奨ACアダプター：RP-AC61B（パナソニック株式会社製）、DC6 V（400 mA）



重要

- ACアダプターを使用する場合は、容易に視認できる場所のコンセントをご使用ください。壁埋め込みや天井裏など、容易に視認できない場所でのご使用は絶対に行わないでください。火災や感電、故障などの原因となります。
- コネクター、プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



ACアダプター（別途調達）

※本機を単独で使用する場合や、ネットワークLAN対応のケーブル長が、100 m以上、300 m以内の場合

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、以下はセンターユニットまたはセンターマイクを接続していない場合についてのみ記述しています。センターユニットまたはセンターマイクを接続してご使用の場合は、各機器の取扱説明書を合わせてお読みください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源表示灯が消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークLAN対応ケーブルのコネクターまたはACアダプターのプラグが抜けていませんか？ →接続を確認してください。 	16
ポータブルトランシーバーが通話できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と各ポータブルトランシーバーの周波数は合っていますか？ →周波数を合わせてください。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ●センターユニット接続スイッチが“接続”になっていませんか？ →“切”にしてください。 	11
	<ul style="list-style-type: none"> ●外来からの電波の影響を受けていませんか？ →別の周波数を選択してください。 	10
通話できないポータブルトランシーバーがある	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と各ポータブルトランシーバーの周波数は合っていますか？ →周波数を合わせてください。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ●従来システムとの組み合わせの場合、従来システムとの接続設定をしていますか？ →設定を確認してください。 	11
ポータブルトランシーバーで通話開始時や終了時に“ザッ”というノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> ●スケルチの設定が“OFF”になっていませんか？ →“ON”に設定してください。 	12
混信することがある	<ul style="list-style-type: none"> ●外来からの電波の影響を受けていませんか？ →別の周波数を選択してください。 	10

その他

ユーザー通知一覧

本機では下記の内容について、電源表示灯の点灯・点滅で動作状態をお知らせします。

分類	内 容		電源表示灯“赤”
通知	電源ON時		点灯
通知	電源OFF時		消灯
警告	スイッチ設定異常	周波数グループ設定ロータリースイッチが“1,2,3,4,5,6,・”以外に設定されている、またはチャンネル設定ディップスイッチが全て“OFF”になっている	ゆっくり点滅
警告	機器異常	お買い上げの販売店に修理を依頼してください	早く点滅

仕様

電波形式	F2D、F3E
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	10 mW/1 mW切換
到達距離	約 60 m (10 mW設定時、屋外 見通しにて)
変調感度	±0.85 kHz FM (−10 dBV 1kHzにて)
電源	センターユニットより供給 : 約 5.6 V ACアダプター (別途調達) : 約 6 V
消費電流	約 90 mA (5.6 Vにて)
使用温度範囲	−10 °C~+50 °C
寸法	幅 72 mm 高さ 130 mm (アンテナ含まず) 奥行き 27.5 mm
質量	約 120 g
仕上げ	OAアイボリー色 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色)

●周波数表

受信周波数	送信周波数	周波数グループ							
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G・	
421.5750 MHz	440.0250 MHz	①							
421.5875 MHz	440.0375 MHz		①						
421.6000 MHz	440.0500 MHz								①
421.6125 MHz	440.0625 MHz	②							
421.6250 MHz	440.0750 MHz		②						
421.6375 MHz	440.0875 MHz			①					
421.6500 MHz	440.1000 MHz				①				
421.6625 MHz	440.1125 MHz					①			
421.6750 MHz	440.1250 MHz						①		
421.6875 MHz	440.1375 MHz	③							
421.7000 MHz	440.1500 MHz			②					
421.7125 MHz	440.1625 MHz				②				
421.7250 MHz	440.1750 MHz					②			
421.7375 MHz	440.1875 MHz						②		
421.7500 MHz	440.2000 MHz		③						
421.7625 MHz	440.2125 MHz								②
421.7750 MHz	440.2250 MHz	④							
421.7875 MHz	440.2375 MHz								③
421.8000 MHz	440.2500 MHz	—	—	—	—	—	—	—	—
421.8125 MHz	440.2625 MHz		④						
421.8250 MHz	440.2750 MHz			③					
421.8375 MHz	440.2875 MHz				③				
421.8500 MHz	440.3000 MHz					③			
421.8625 MHz	440.3125 MHz						③		
421.8750 MHz	440.3250 MHz			④					
421.8875 MHz	440.3375 MHz				④				
421.9000 MHz	440.3500 MHz					④			
421.9125 MHz	440.3625 MHz						④		

※チャンネル①～④について

- センターユニットを含むシステム構成の場合、周波数グループ設定ロータリースイッチで設定されたG1～G6、G・の①～④は、センターユニットのセンタートランシーバー入出力端子1,2,3,4に対応しています。
- センターユニットのないシステム構成の場合、周波数グループ設定ロータリースイッチで設定されたG1～G6、G・の①～④は、チャンネル設定ディップスイッチで設定したチャンネル番号に対応しています。(センタートランシーバーをセンターマイクと接続、またはセンタートランシーバー単独使用のシステム)

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このセンタートランシーバーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

17ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	センタートランシーバー
品番	WX-CT10A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WX-CT10A
	販売店名	電話 () -				

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410